



## 2025年11月期 決算説明資料

AHCグループ株式会社

証券コード：7083



1	2025年11月期 実績	3P
2	2025年11月期 主要取組事項	14P
3	2026年11月期 通期業績予想	20P
4	成長戦略	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	33P



1	2025年11月期 実績	3P
2	2025年11月期 主要取組事項	14P
3	2026年11月期 通期業績予想	20P
4	成長戦略	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	33P



■ 売上高は前期および当期開設の事業所の影響で前期比382百万円増の6,660百万円となつたが、新規開設の事業所に係る費用や人件費、物価の高騰などにより営業利益は19百万円減の108百万円、さらに減損損失の計上などにより親会社株主に帰属する当期純利益は97百万円減の1百万円となつた

(単位：百万円)

	2024年11月期 実績 (2023/12～2024/11)		2025年11月期 実績 (2024/12～2025/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,277	100.0%	6,660	100.0%	382	6.1%
売上原価	5,595	89.1%	5,952	89.4%	356	6.4%
売上総利益	682	10.9%	707	10.6%	25	3.8%
販売費及び一般管理費	554	8.8%	598	9.0%	44	8.1%
営業利益	128	2.0%	108	1.6%	△19	△14.9%
経常利益	154	2.5%	127	1.9%	△27	△17.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	98	1.6%	1	0.0%	△97	△99.0%



- 売上高は介護で未達となったものの福祉・外食が伸び、予想を達成した
- 営業利益は、物価の上昇などにより予想を下回った

(単位：百万円)

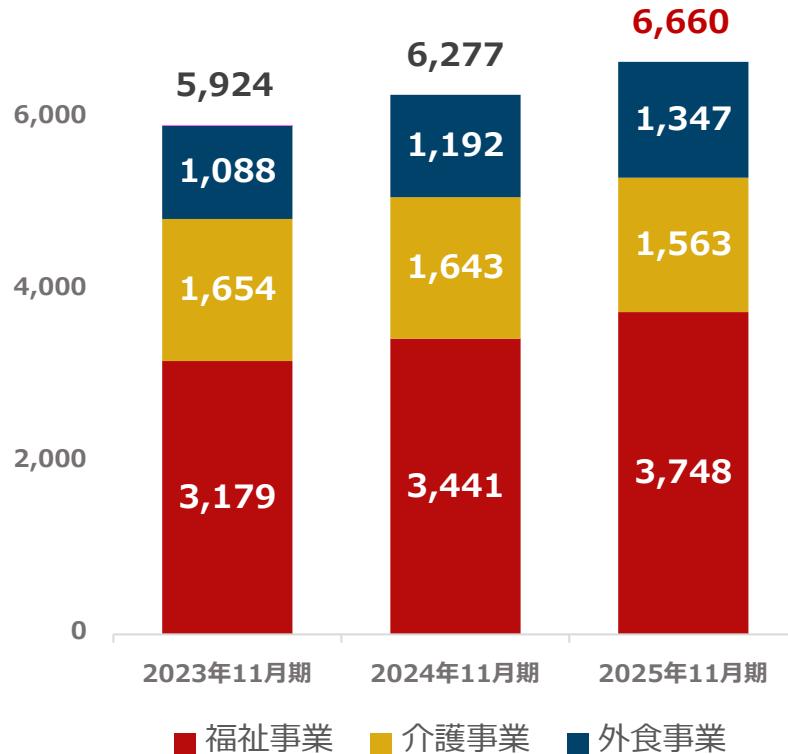
	2025年11月期 予想 (2024/12～2025/11)		2025年11月期 実績 (2024/12～2025/11)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,622	100.0%	6,660	100.0%	37	0.6%
営業利益	172	2.6%	108	1.6%	△63	△36.7%
経常利益	163	2.5%	127	1.9%	△35	△22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	110	1.7%	1	0.0%	△109	△99.1%



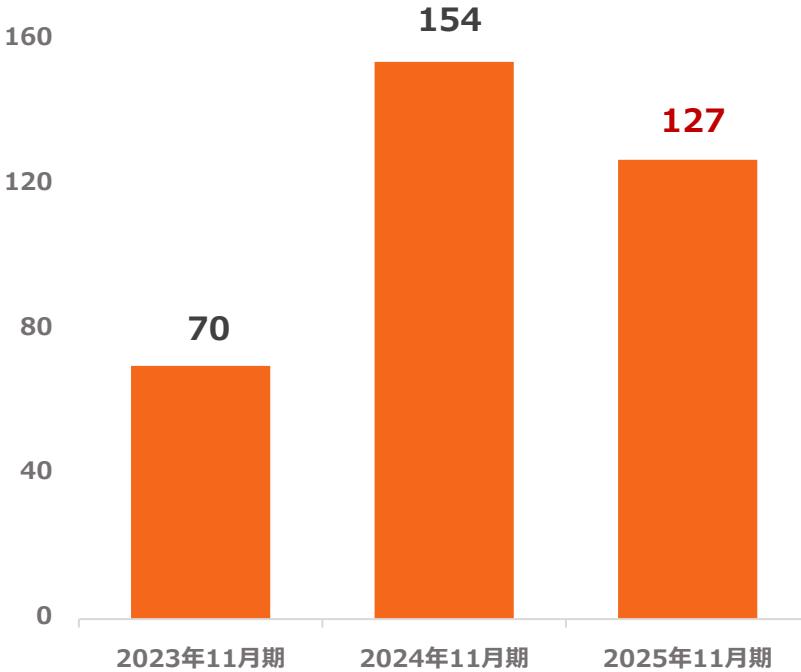
- 売上高は福祉・外食が順調に伸長し6,660百万円を達成した
- 経常利益については新規事業所や人件費、物価の高騰があったものの127百万円を確保できた

売上高の推移

(単位：百万円)

経常利益の推移

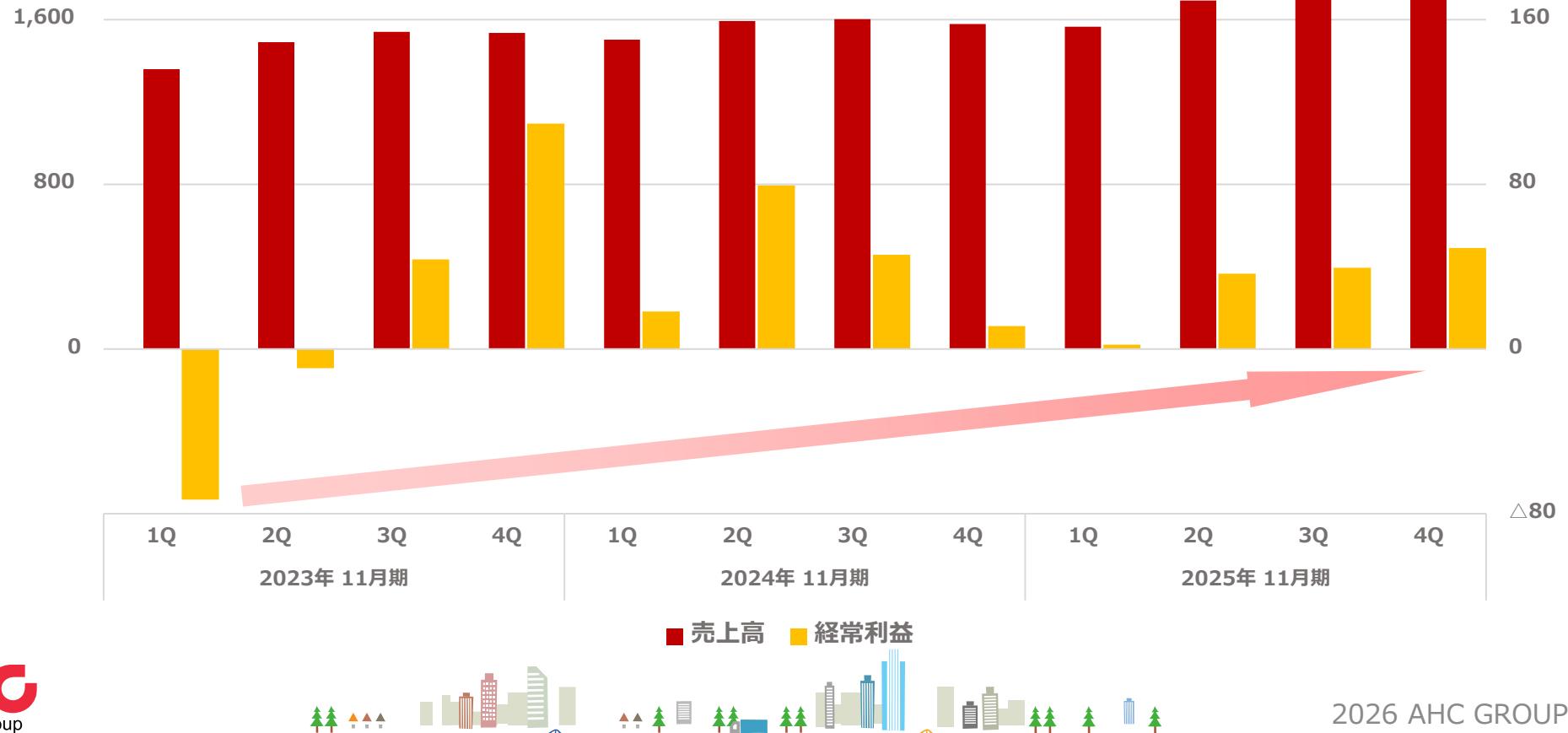
(単位：百万円)



## ■ 10四半期継続して経常利益を確保することができた

売上高  
(単位：百万円)

経常利益  
(単位：百万円)



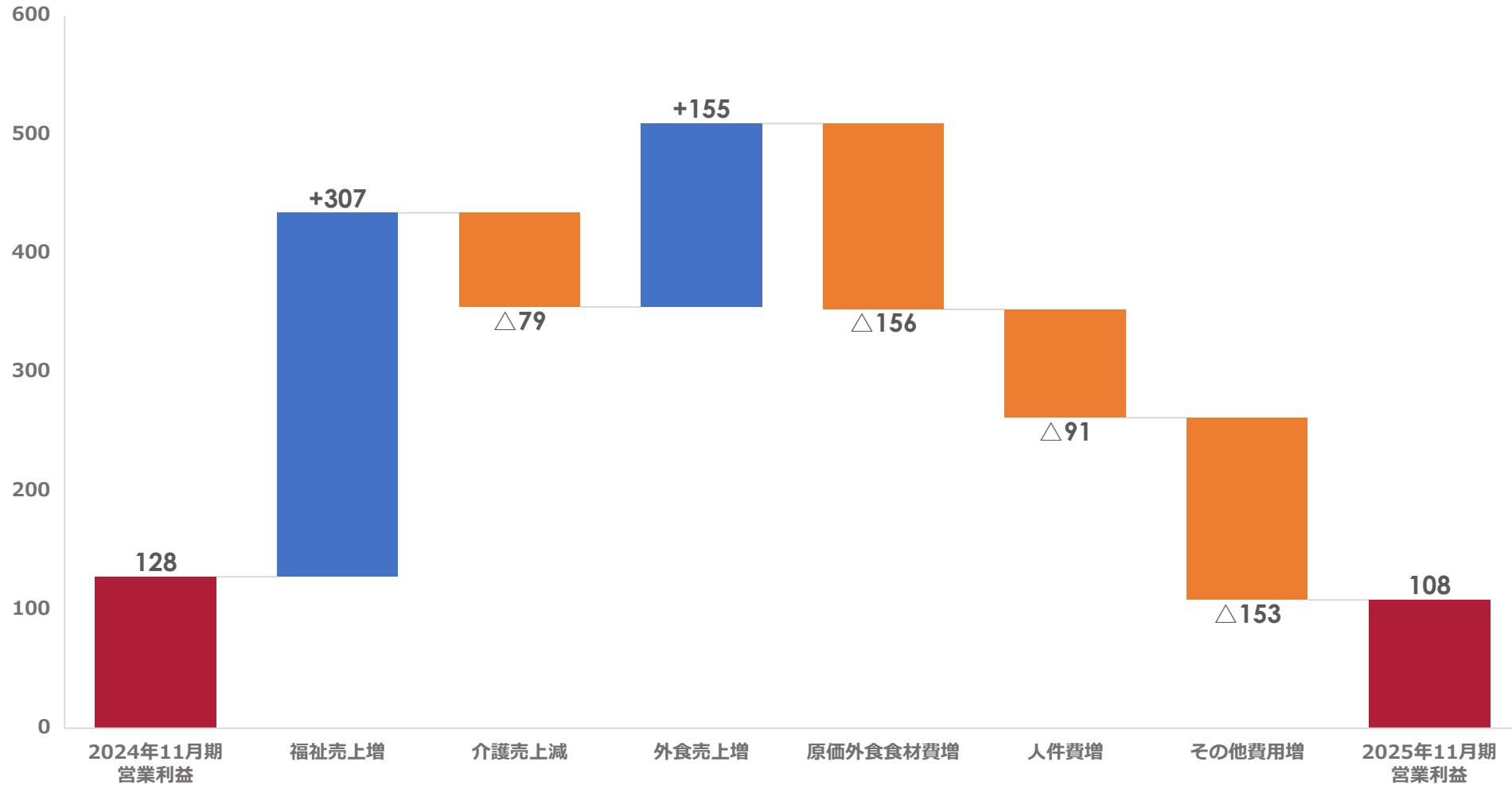
- 売上原価は外食の食材販売の拡大により食材費が増加したほか、人件費が上昇したこと、物価高騰の影響により増加した
- 販売費及び一般管理費についてはM&Aによるのれん償却の計上などにより増加した

(単位：百万円)

	2024年11月期 実績 (2023/12～2024/11)		2025年11月期 実績 (2024/12～2025/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,277	100.0%	6,660	100.0%	382	6.1%
売上原価	5,595	89.1%	5,952	89.4%	356	6.4%
(人件費)	2,693	42.9%	2,775	41.7%	82	3.1%
(原価外食食材費)	618	9.8%	774	11.6%	156	25.3%
(地代家賃)	571	9.1%	589	8.8%	17	3.1%
(その他)	1,713	27.3%	1,812	27.2%	99	5.8%
販売費及び一般管理費	554	8.8%	598	9.0%	44	8.1%
(人件費)	90	1.4%	98	1.5%	8	9.3%
(のれん償却)	33	0.5%	46	0.7%	13	41.3%
(その他)	430	6.9%	453	6.8%	22	5.3%
営業利益	128	2.0%	108	1.6%	△19	△14.9%



(単位：百万円)



- 福祉事業は前期開設事業所の立ち上がり、子会社化したパパゲーノの影響で売上高は増加したものの新規開設事業所の影響により営業利益は下回った
- 介護事業は事業所の閉鎖や事業譲渡により、売上高は前期を下回ったものの、事業所の効率化や利用増加により営業利益(損失)は改善した
- 外食事業は飲食店舗が順調に推移したことに加え、加工・物流事業が好調に推移し、売上高・営業利益ともに前期を上回った

(単位：百万円)

		2024年11月期 実績 (2023/12～2024/11)	2025年11月期 予想 (2024/12～2025/11)	2025年11月期 実績 (2024/12～2025/11)	前期比 増減額	予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	3,441	3,809	3,748	307	△61
	営業利益	250	284	219	△30	△64
介護事業	売上高	1,643	1,626	1,563	△79	△63
	営業利益	△28	39	△1	26	△41
外食事業	売上高	1,192	1,185	1,347	155	162
	営業利益	80	64	88	7	23
調整額	売上高	—	—	—	—	—
	営業利益	△174	△216	△197	△22	18
計	売上高	6,277	6,622	6,660	382	37
	営業利益	128	172	108	△19	△63

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



## 2025年11月期は合計7事業所を開設

計画(通期)：生活介護2、グループホーム1、就労継続支援B型2、児童発達支援1  
 実績(通期)：生活介護3、グループホーム2、就労継続支援B型1、児童発達支援1

### ■福祉事業：7事業所開設

#### 生活介護 3事業所

- ・「アプリケアワークス蘇我」(2月)
- ・「アプリケアワークス上福岡駅西口」(5月)
- ・「アプリケアワークス亀山」(6月)

#### グループホーム 2事業所

- ・「Beetle桑名大山田」(9月)
- ・「Beetle藤沢本町2号館」(10月)

#### 就労継続支援B型 1事業所

- ・「パパゲーノ Work & Recovery 用賀」(2月)

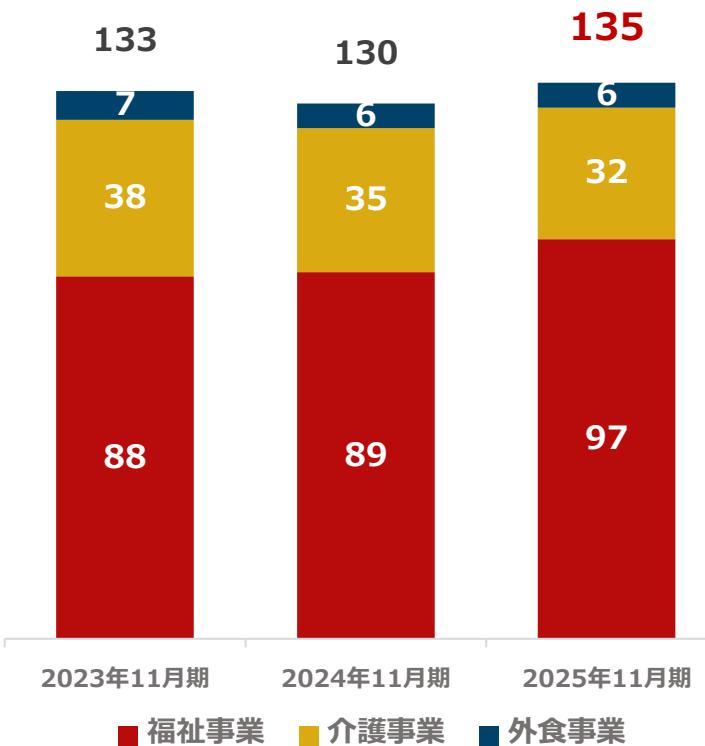
#### 児童発達支援 1事業所

- ・「アプリキッズ四日市小古曽」(10月)

※福祉 就労継続支援B型 1事業所取得

※介護 デイサービス 2事業所閉鎖・1事業所譲渡

### 事業所数の推移



(単位：百万円)

	2024年11月期実績	2025年11月期実績	前期比 増減額
流動資産	3,568	3,685	116
固定資産	2,229	2,398	168
(有形固定資産)	1,239	1,351	112
(無形固定資産)	303	363	59
(投資その他の資産)	686	683	△2
総資産	5,798	6,083	285
負債	4,593	4,904	311
(流動負債)	1,251	1,467	215
(固定負債)	3,341	3,436	95
純資産	1,204	1,179	△25

### ■ 流動資産の増減要因

- 売上高増加による  
売掛金の増加(+21百万円)  
現金及び預金の増加(+34百万円)

### ■ 固定資産の増減要因

- 事業所新規開設による  
土地・建物等の増加(+189百万円)
- 減価償却累計額の増加(△66百万円)
- M&Aによるのれんの増加(+61百万円)

### ■ 負債の増減要因

- 借入金の増加(+299百万円)

### ■ 純資産の増減要因

- 新株発行による  
資本金の増加(+13百万円)  
資本剰余金の増加(+9百万円)
- 配当金による利益剰余金の減少(△19百万円)
- 自己株式の増加(△27百万円)



(単位：百万円)

	2024年11月期 実績	2025年11月期 実績
税金等調整前当期純利益	<b>148</b>	<b>58</b>
営業活動によるC F	<b>439</b>	<b>192</b>
有形固定資産の取得による支出	△224	△280
投資有価証券の取得による支出	△89	△3
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	–	△87
投資活動によるC F	△358	△395
長期借入れによる収入	<b>933</b>	<b>950</b>
借入金返済による支出	△583	△669
自己株式の取得による支出	△58	△32
配当金の支払額	–	△20
財務活動によるC F	<b>290</b>	<b>224</b>
現金及び現金同等物の増減額	<b>371</b>	<b>21</b>
現金及び現金同等物の期首残高	<b>2,047</b>	<b>2,419</b>
現金及び現金同等物の期末残高	<b>2,419</b>	<b>2,440</b>



1	2025年11月期 実績	3P
2	2025年11月期 主要取組事項	14P
3	2026年11月期 通期業績予想	20P
4	成長戦略	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	33P



主要取組①  
**事業の拡大**

- ・事業所の新規開設
- ・「AI支援さん」の販路開拓、拡大

主要取組②  
**DXの推進**

- ・ITを活用した業務効率化
- ・AI活用の推進

主要取組③  
**業務提携の進捗**

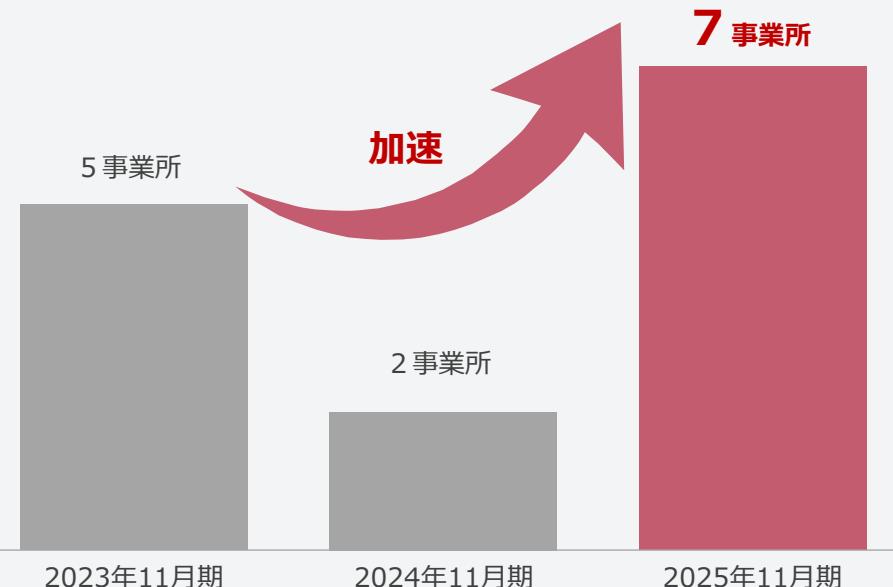
- ・ITを活かした就労支援業態の確立
- 株式会社manaby  
株式会社パパゲーノ



## 事業所の新規出店

- 計画を上回る7事業所を新規開設  
前期、前々期を上回る出店ペースで成長を加速
- 学校卒業後に利用できる事業所を中心に展開し、地域の福祉インフラ拡充に貢献

新規開設数の推移



2025年11月期の開設実績



### 就労継続支援B型

パパゲーノ Work & Recovery 用賀



### 生活介護

アプリケアワークス蘇我、アプリケアワークス亀山  
アプリケアワークス上福岡駅西口



### 共同生活援助

ビートル桑名大山田、ビートル藤沢本町2号館



### 児童発達支援

アプリキッズ四日市小古曽



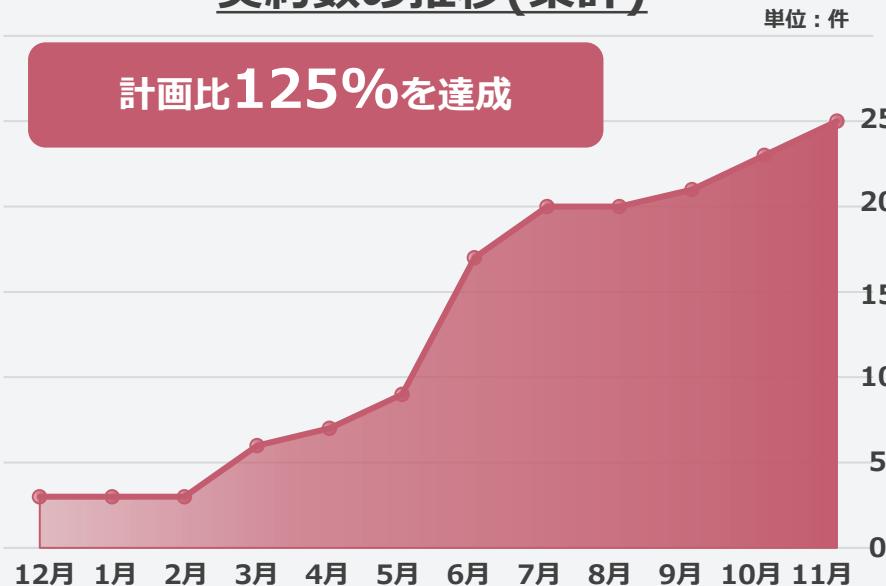
## 「AI支援さん」の販路開拓・拡大

- 主要KPI目標を達成、SaaS型ビジネスとして順調な立ち上がり  
契約数 計画比**125%**達成、売上高 計画比**108%**達成
- 新機能「AI画像読み取り機能」をリリース  
現場スタッフの手書き帳票デジタル化という強いニーズに対応

AI支援記録アプリ



契約数の推移(累計)



売上の推移(累計)



# ITとAIを活用し業務の効率化・改革を推進

## ITを活用した業務効率化

課題：多拠点・多事業を展開する中で、本社と現場間の連携に重複作業が発生し、非効率な業務プロセスが存在

取組：第一弾の取組みとして、売掛管理の業務領域において、システムによる自動化を試行

今後：部分的な効率化が確認できたため、今後は全社的な「データ資産化」や「拡張性」のあるシステム開発に向け、抜本的なシステム基盤構築に着手

## AI活用の推進

課題：現場では自治体ごとに異なる様式をアナログで資料を作成

取組：現場で「AI支援さん」を導入し、従業員の業務負担削減

今後：継続して「AI支援さん」の導入を拡大  
現場でのAI活用を推進し、従業員の業務負担削減

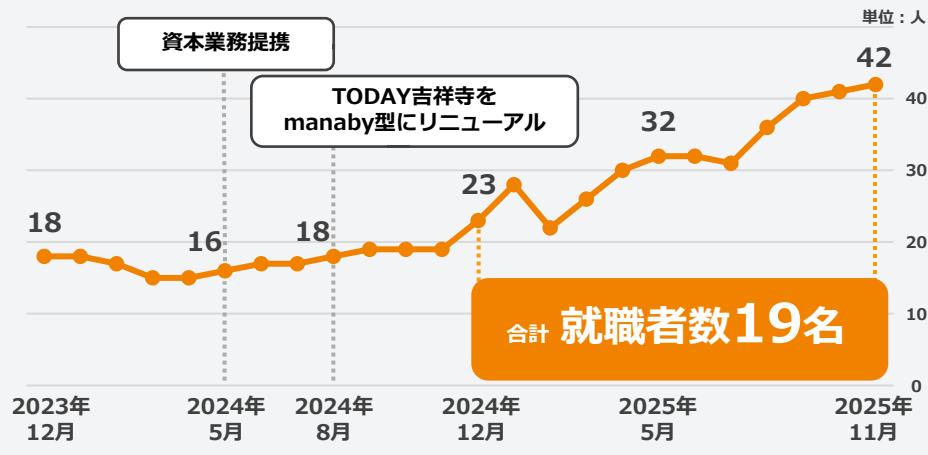


## ITを活かした就労支援業態の確立



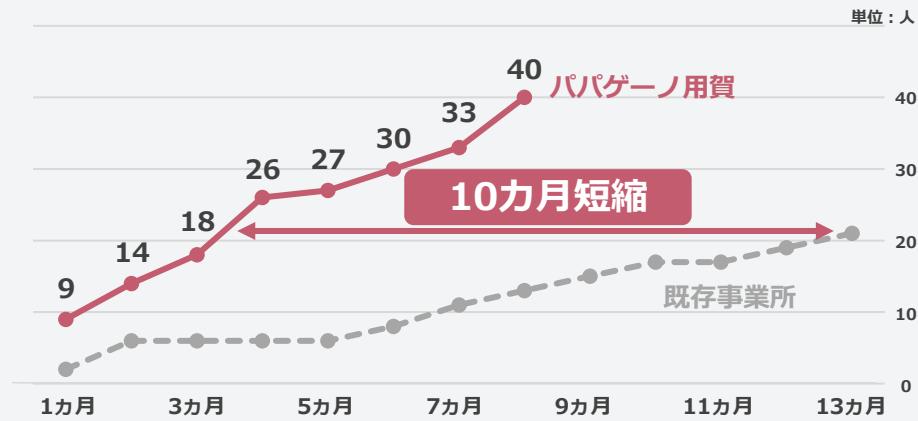
- 既存事業所を「manaby型」にリニューアルし、manabyのノウハウを導入
- 就労移行支援業態としてのサービス品質と競争力が向上し、利用者の増加と多数の一般就労者を輩出

就労移行支援業態 利用登録者数の推移



- 「パパゲーノWork & Recovery用賀」は、開設直後から利用希望者を順調に獲得
- 事業所の立ち上げ期間を大幅に短縮し、開設1年未満で既存事業所と同水準の利用登録者を確保

パパゲーノ用賀 利用登録者数推移の比較



1	2025年11月期 実績	3P
2	2025年11月期 主要取組事項	14P
3	2026年11月期 通期業績予想	20P
4	成長戦略	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	33P



- 2025年開設事業所の立ち上げと、福祉事業所を中心に事業所開設を行い、事業の拡大を図る
- 売上高は7,242百万円(前期比8.7%増)、営業利益は175百万円(前期比60.9%増)、経常利益は165百万円(前期比30.1%増)と予想

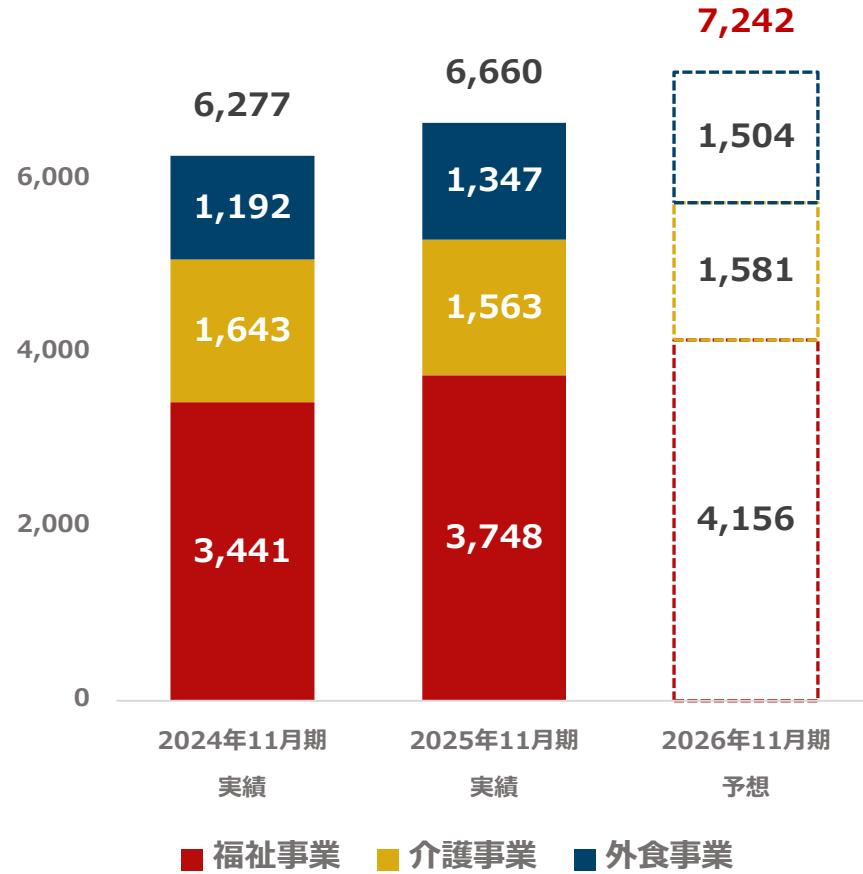
(単位：百万円)

	2025年11月期 実績 (2024/12～2025/11)		2026年11月期 予想 (2025/12～2026/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,660	100.0%	7,242	100.0%	582	8.7%
営業利益	108	1.6%	175	2.4%	66	60.9%
経常利益	127	1.9%	165	2.3%	38	30.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1	0.0%	92	1.3%	91	-



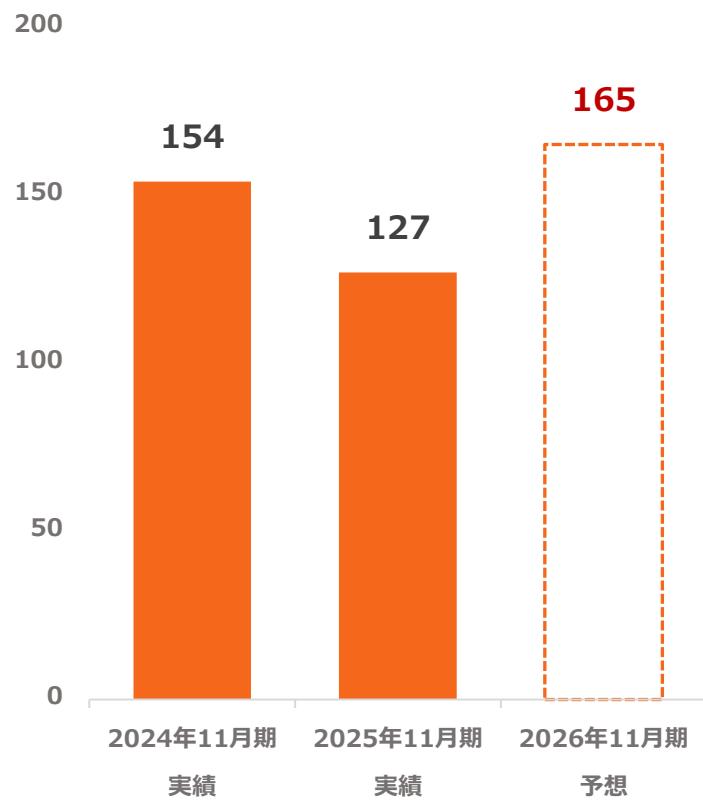
## 売上高の推移

(単位：百万円)



## 経常利益の推移

(単位：百万円)



- 福祉事業は前期開設事業所の立ち上げと「就労継続支援B型事業所」等の施設型事業所の出店を強化
- 介護事業は稼働を維持しつつ、効率化を進め収益改善を推し進める
- 外食事業は新規店舗の開店と、加工・物流事業の外部販売を強化し拡大を図る

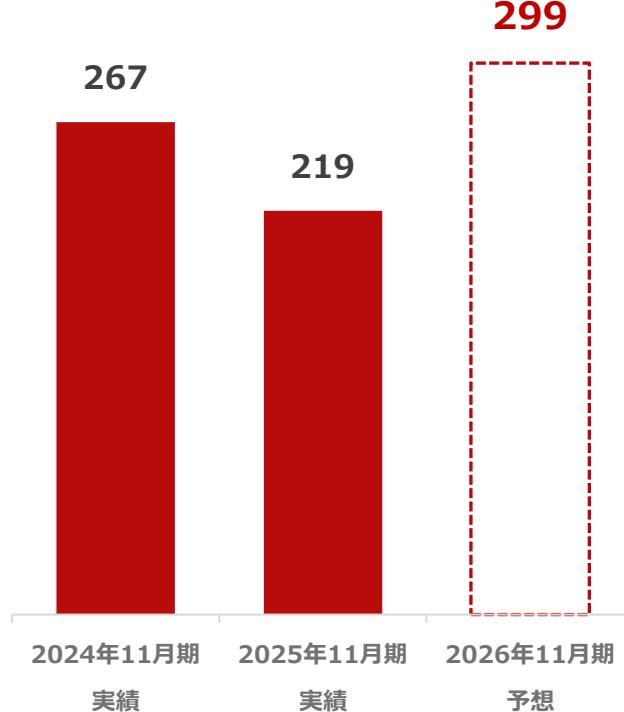
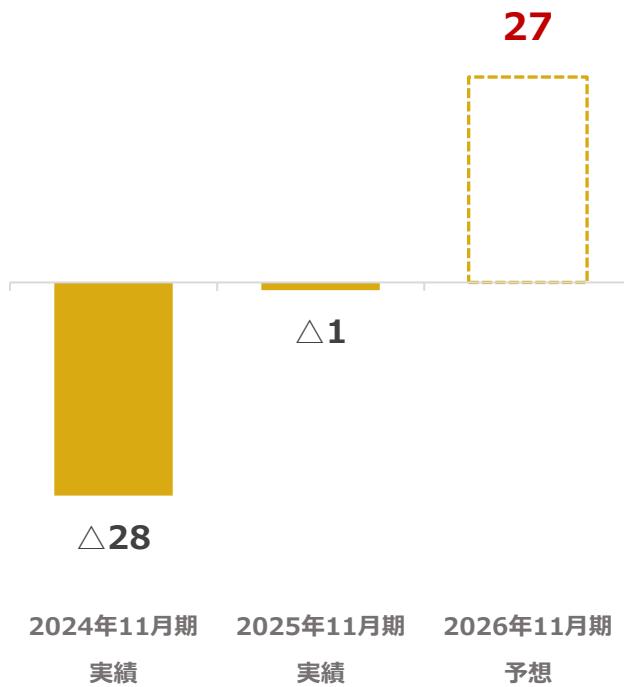
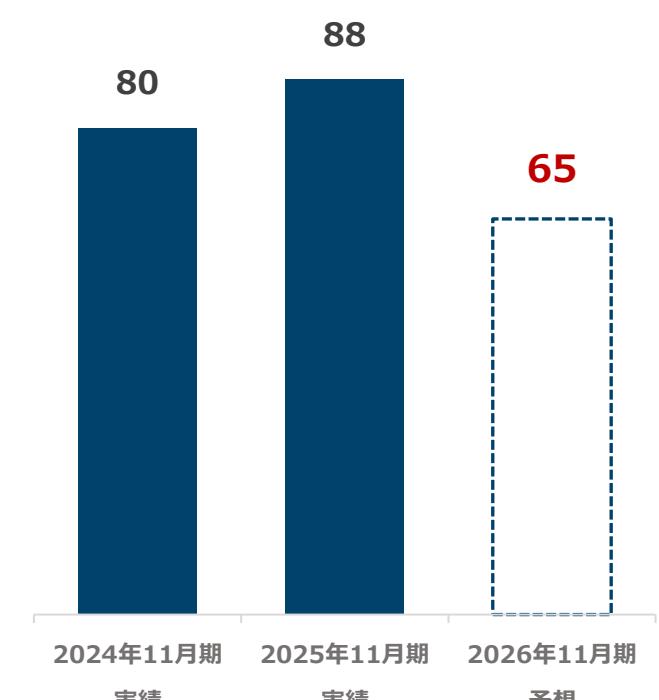
(単位：百万円)

		2025年11月期 実績 (2024/12～2025/11)	2026年11月期 予想 (2025/12～2026/11)	前期比 増減額	前期比 増減率
		金額	金額		
福祉事業	売上高	3,748	4,156	407	10.9%
	営業利益	219	299	79	36.3%
介護事業	売上高	1,563	1,581	18	1.2%
	営業利益	△1	27	28	-
外食事業	売上高	1,347	1,504	156	11.6%
	営業利益	88	65	△23	△26.3%
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	△197	△216	△19	-
計	売上高	6,660	7,242	582	8.7%
	営業利益	108	175	66	60.9%

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



(単位：百万円)

福祉事業介護事業外食事業

# 2026年11月期は合計8事業所の開設計画

## ■ 福祉事業：6事業所の開設計画

就労継続支援B型 3事業所

共同生活援助（グループホーム） 2事業所

児童発達支援 1事業所

## ■ 介護事業：1事業所の開設計画

居宅介護支援事業所 1事業所

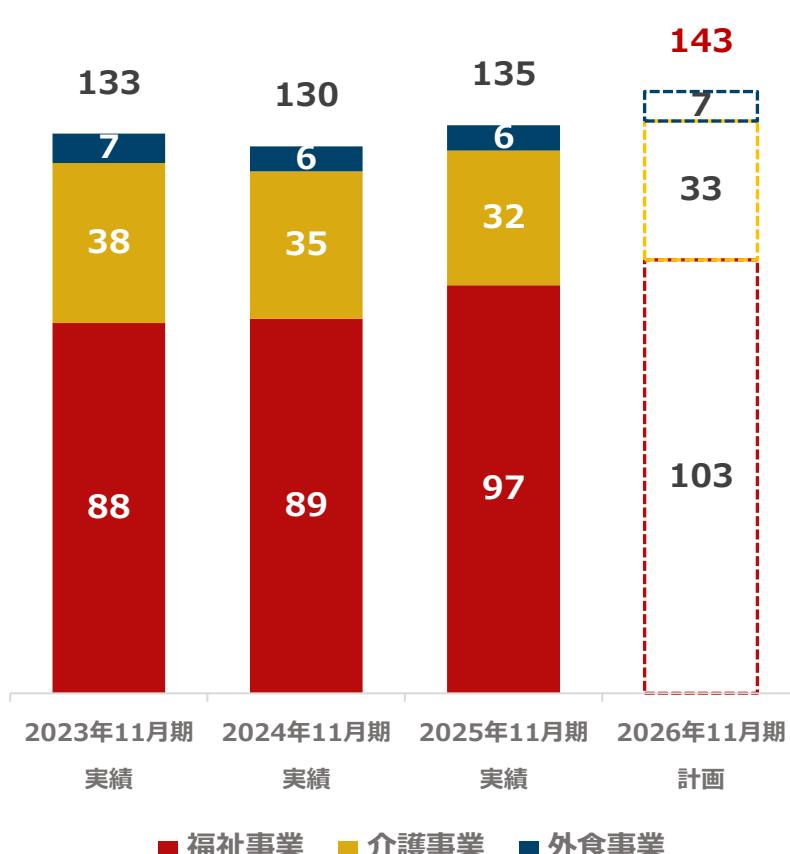
・東京都 オレンジユ德丸(12月)

## ■ 外食店舗：1店舗の開設計画

飲食店舗 1店舗

・東京都

事業所数の推移



1	2025年11月期 実績	3P
2	2025年11月期 主要取組事項	14P
3	2026年11月期 通期業績予想	20P
4	成長戦略	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	33P



## 持続的成長を支える3つの戦略

### 成長戦略①

#### 人材の採用・教育

- ・多様な人材の採用強化
- ・階層別の教育強化

### 成長戦略②

#### 事業の拡大

- ・事業所の新規開設
- ・外食関連事業の拡大

### 成長戦略③

#### DXの推進

- ・「A I 支援さん」の導入拡大
- ・全社データ統合基盤の構築



## 多様な人材の採用と階層に応じた成長を促す教育

- 多様な人材の獲得とマネジメント層・中堅層・新規入社層各々の成長を促進させる教育によりグループ全体の成長へ貢献

### (1)採用の強化

- ・継続して新卒、中途採用を強化  
(多様なチャネル、手法を活用)
- ・外国人人材の積極的な採用
- ・特定技能外国人人材への自社支援サポートで定着を強化

### (2)教育の強化

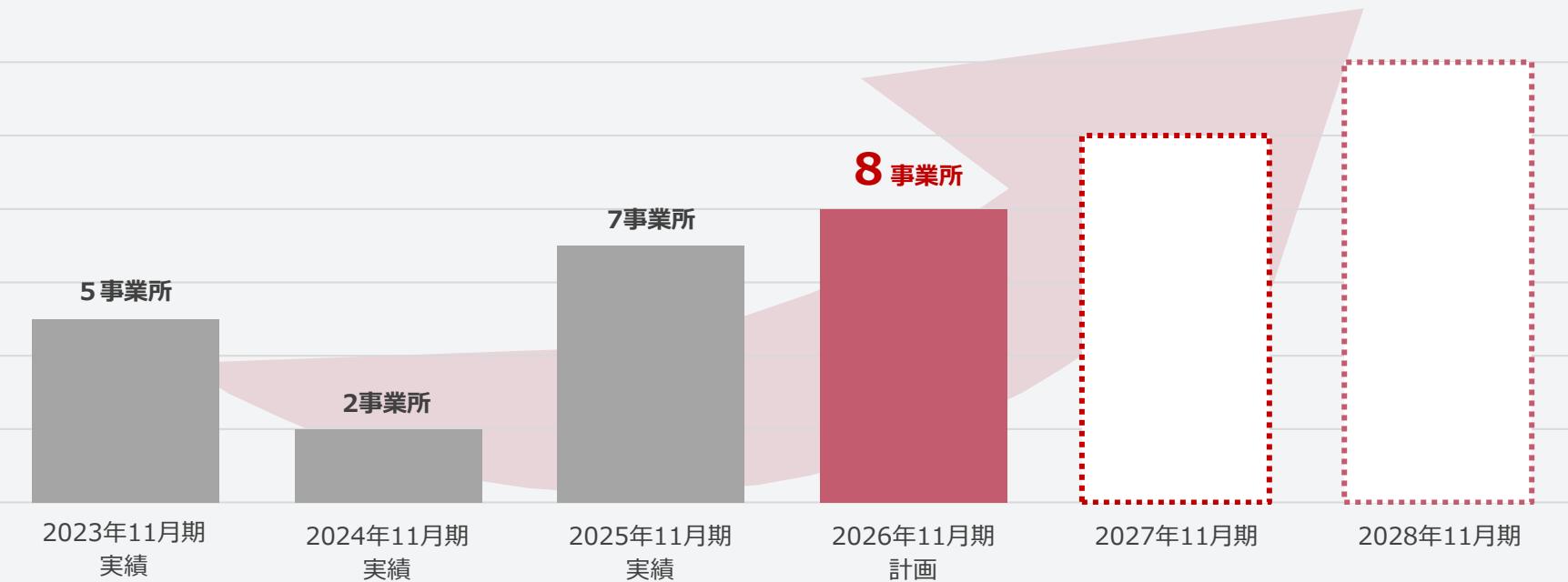
- ・新規入社向け研修の定期開催により業務スキルの向上、帰属意識の醸成
- ・外国人人材対象の社内研修による定着促進
- ・幹部クラス・中堅層の研修の拡充による組織運営の高度化



## 事業所の新規開設を継続して加速

- 「就労継続支援B型」を中心に8事業所の開設を計画
- 既存エリア（首都圏・中部エリア）での開設を加速

新規開設の推移

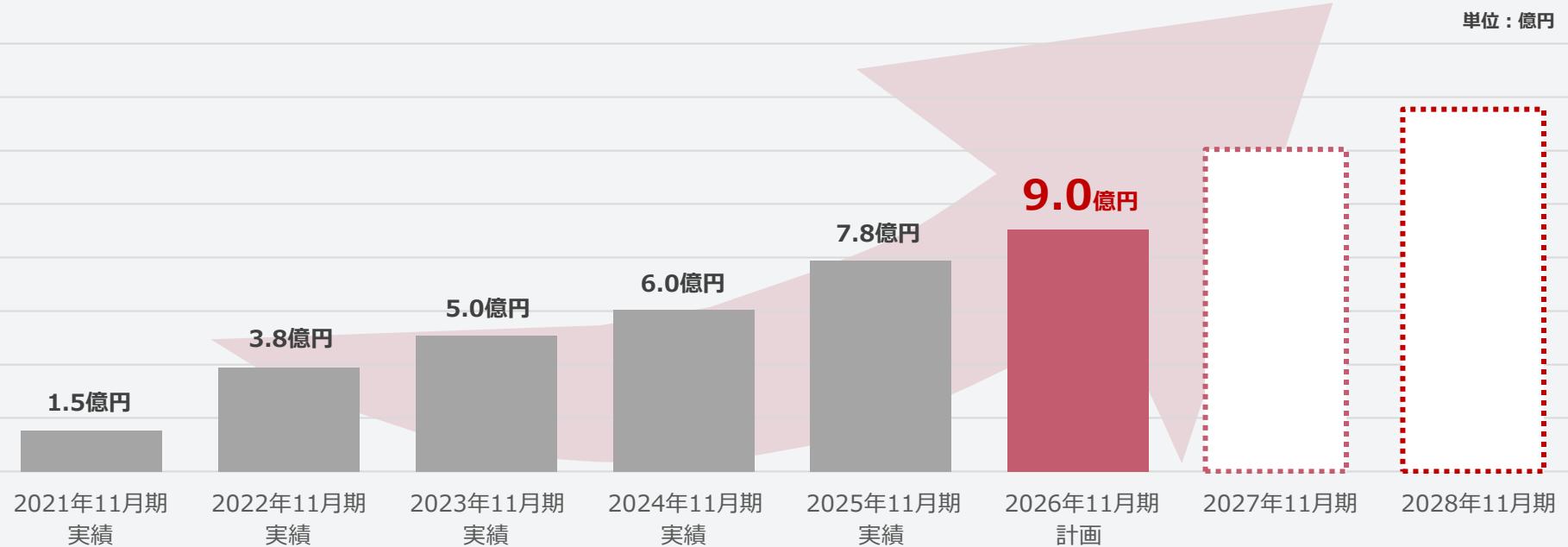


## 外食関連事業の拡大

- センターネットワーク社の取り組む、食材の外部販売を拡大
- 単なる食材卸にとどまらず、事業の課題を深く理解し解決するパートナーとして取引先を開拓

売上高の推移  
センターネットワーク株式会社

単位：億円



## 「AI支援さん」の導入拡大

- 新機能「利用時間管理機能」、「AIチャットBOT機能」を実装予定
- 機能拡充による提供価値の向上により導入拡大の促進

AI支援記録アプリ



### 「AI支援さん」の機能範囲

新機能  
AIチャットBOT

計画  
個別支援計画書

記録  
日々の支援記録  
面談記録

新機能  
利用時間管理

請求  
国保連への請求  
利用者への請求

### 「AIチャットBOT」機能



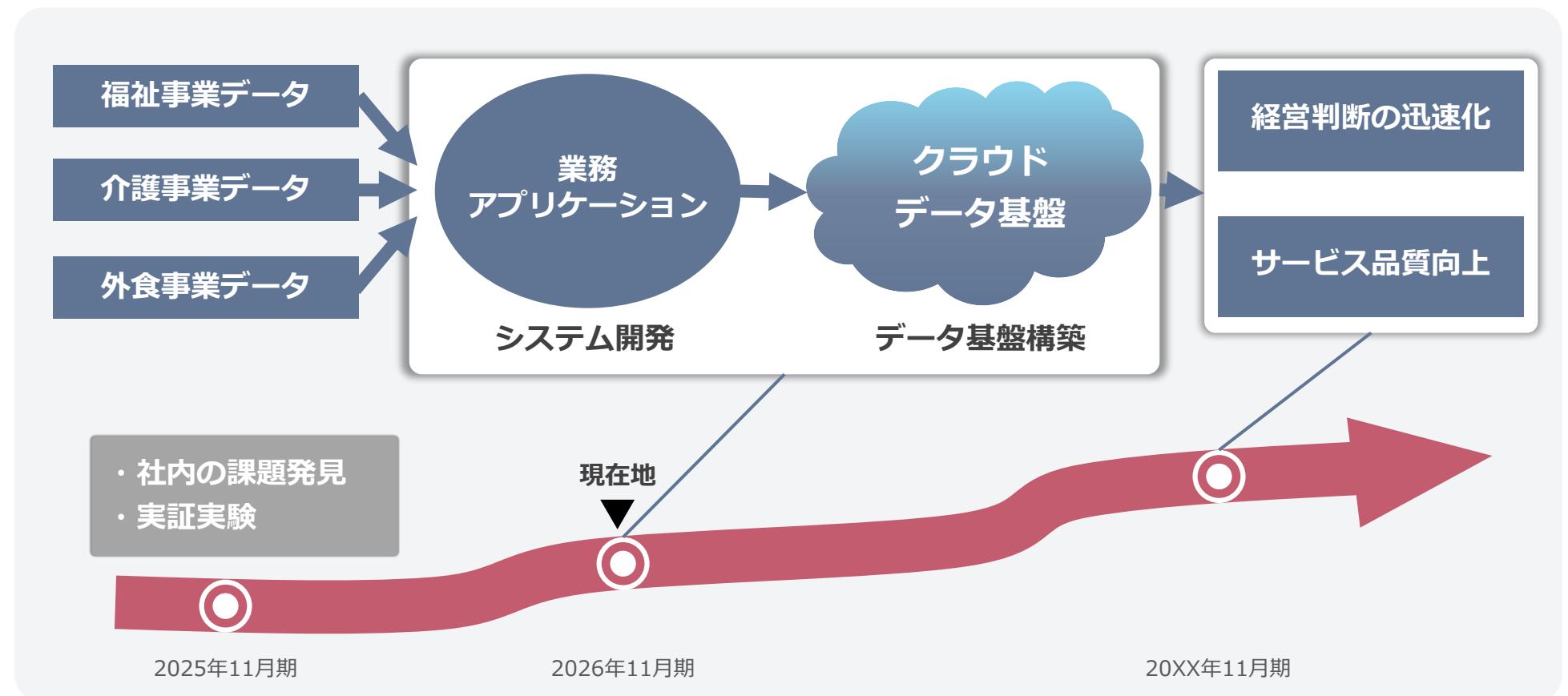
【提案】  
Aさんの記録で『不眠』が増えています。  
個別支援計画書の目標『生活リズムの安定』に向けて、次回の面談で確認しませんか？

職員のスキル差を埋め、支援の質を底上げ



## 全社データ統合基盤の構築

- 社内に散在するデータを「資産」として一元管理、全社横断的なデータ統合基盤を構築
- 生成AIとクラウド技術によるシステム開発



1	2025年11月期 実績	3P
2	2025年11月期 主要取組事項	14P
3	2026年11月期 通期業績予想	20P
4	成長戦略	26P
5	補足資料（会社・事業概要）	33P





## 当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	67,161千円 (2025年11月30日現在)
従業員人数	453人 (2025年11月30日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

### グループ会社（連結子会社）

- S L カンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社 (食材の仕入・加工・販売)
- 株式会社 R A I S E (福祉事業所の運営)
- 株式会社 C O N F E L (福祉事業所の運営)
- 株式会社パパゲーノ (福祉事業所の運営・DX支援)
- Aネクストワークス株式会社 (福祉事業所の運営)



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

## 福祉事業：業態別概要

### 《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害がある未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供

### 《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病がある方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援

### 《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害のある方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供

### 《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供

障害がある方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施

### 《生活介護》

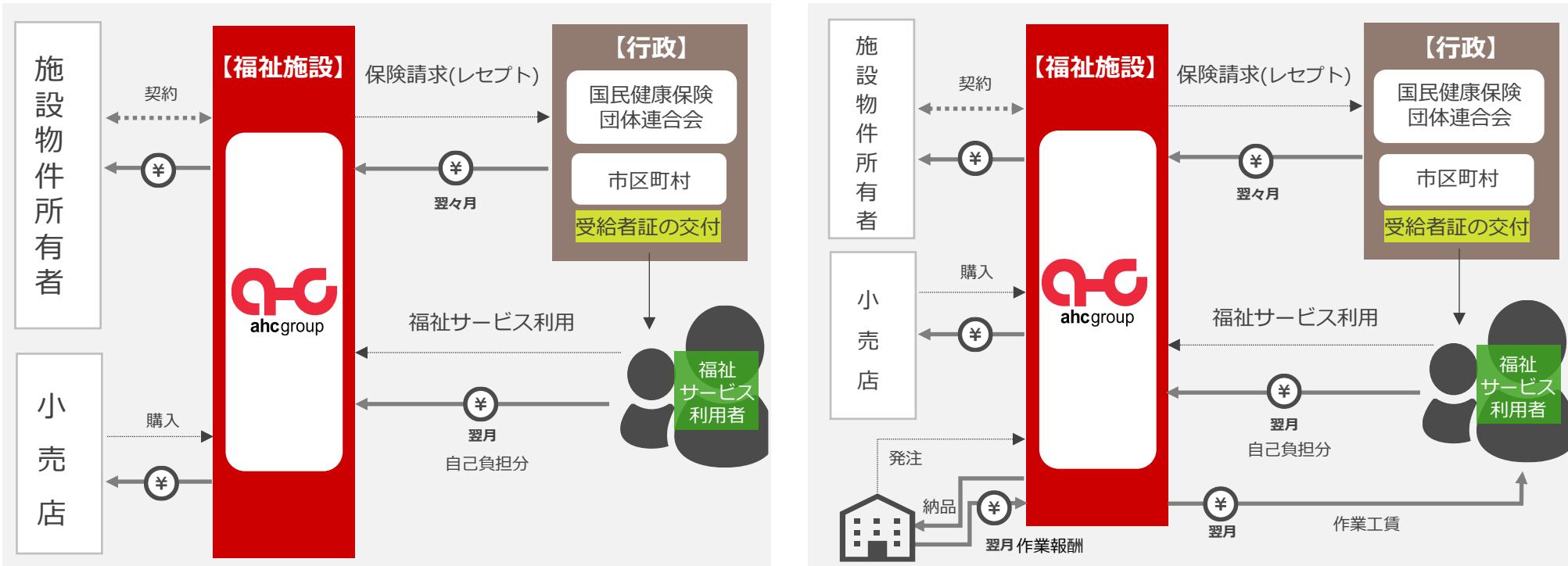
介護を必要とする障害のある方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施



## 福祉事業

福祉事業の多くは9割の公費と約1割の利用者負担額で売上高が構成

- 児童発達支援・放課後等デイサービス・就労移行支援・  
生活介護・共同生活援助(グループホーム)
- 就労継続支援B型



## 地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

### 介護事業：業態別概要

#### 《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス  
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供

#### 《デイサービス あいである》

レクリエーションが充実しているデイサービス  
大浴場を設置し、入浴サービスを実施

#### 《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス  
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上の機能訓練メニューを提供

#### 《デイサービス グリーンデイ》

入浴とリハビリを両立したデイサービス  
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供  
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施

#### 《デイサービス トリコロール》

食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス

#### 《居宅介護支援事業所 オレンジュ》

居宅サービスを利用される方の大切な選択に寄り添う居宅介護支援サービス



## 介護事業

利用者から一部負担金を受領し、差額は  
都道府県や市区町村等の行政機関から  
国保連を通じて報酬を受領

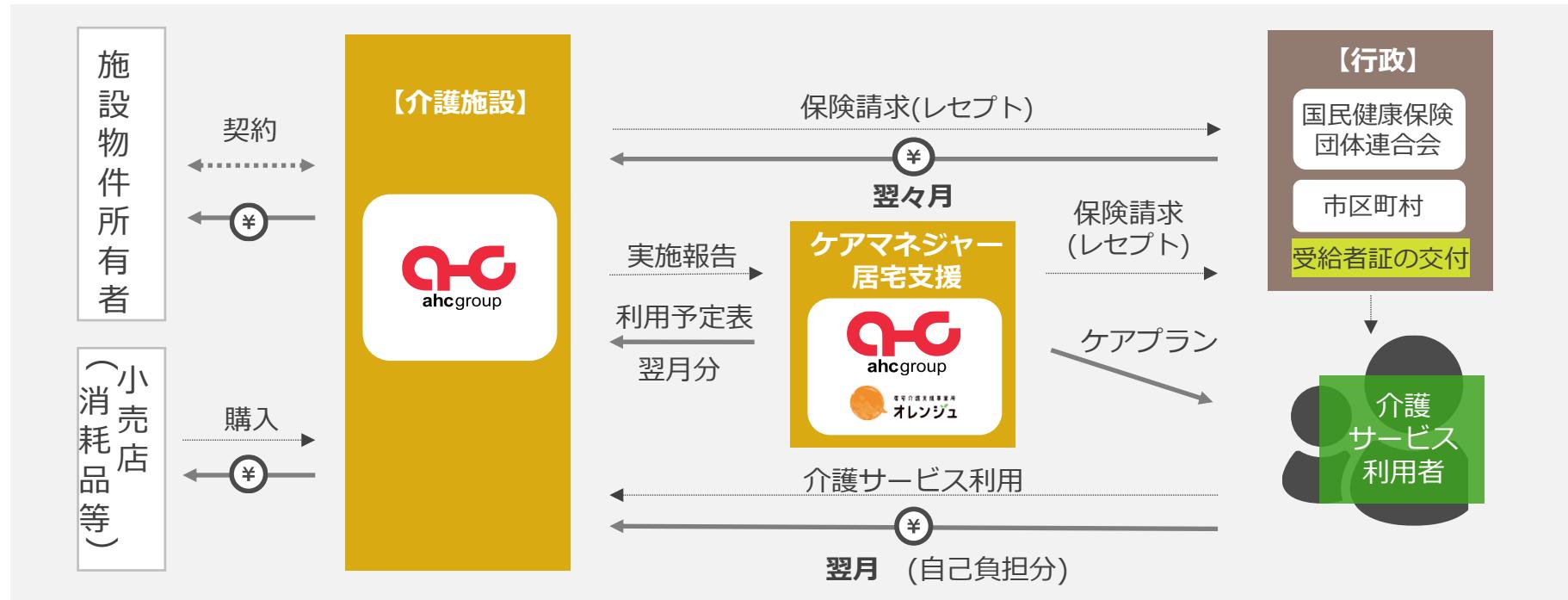
※ケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、サービスを提供



**9~7割 = 公費**

**1~3割 = 利用者負担**

※条件により異なる



## 働く世代をメインターゲットとした店舗を展開

### 外食事業：業態別概要

#### 《ねぎま三ぞう》

30代～40代のサラリーマン層をメインターゲットとして「ねぎま」「煮込み」「鮮魚」をメニューの柱とした高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態

#### 《ニュー大衆居酒屋三ぞう》

20代～30代の若者をメインターゲットとして「煮込み」「餃子」「牛タン」「ねぎま」を名物とした現代らしいモダンでお洒落な雰囲気の大衆居酒屋業態

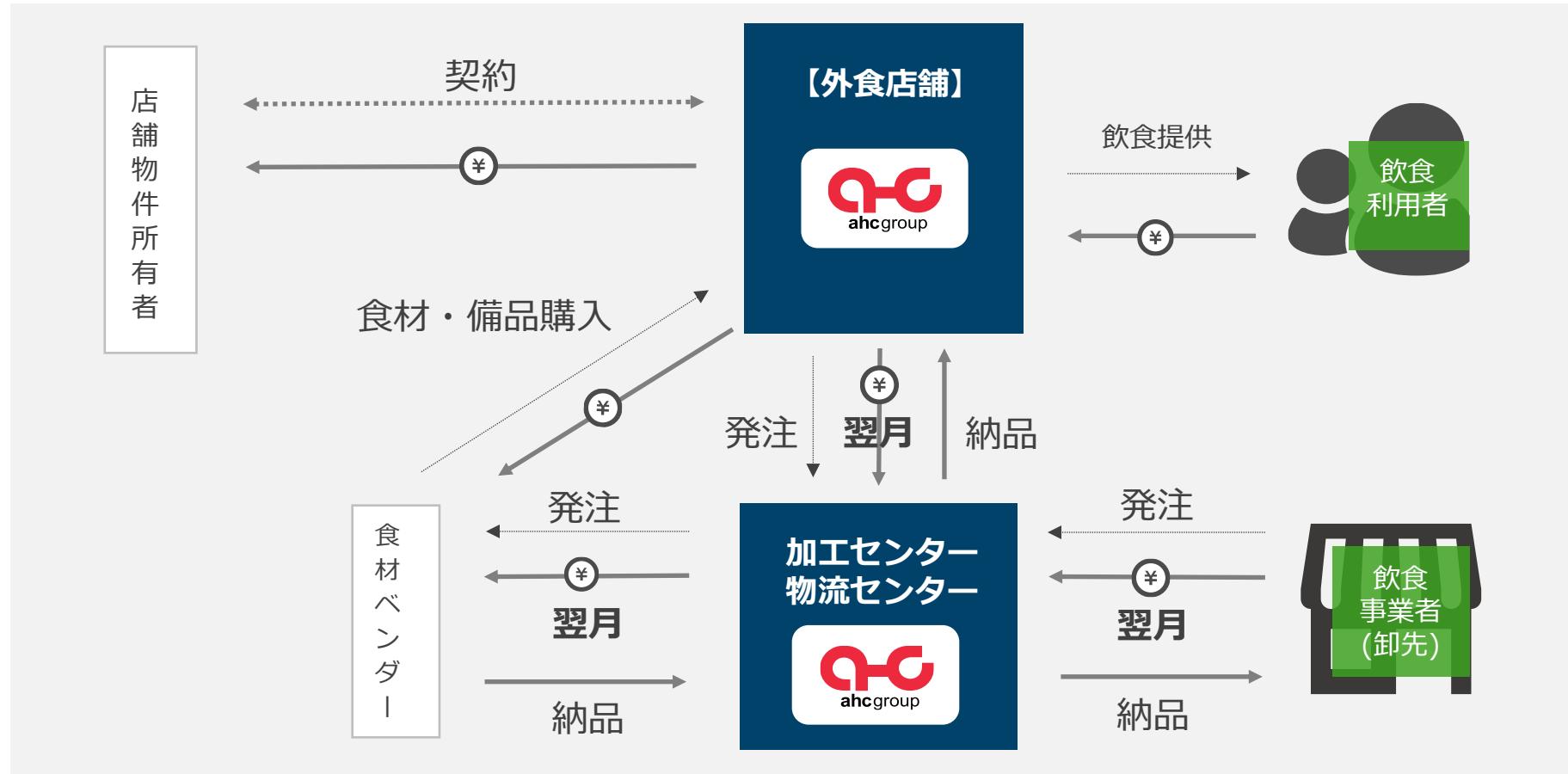
#### 《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態  
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応



## 外食事業

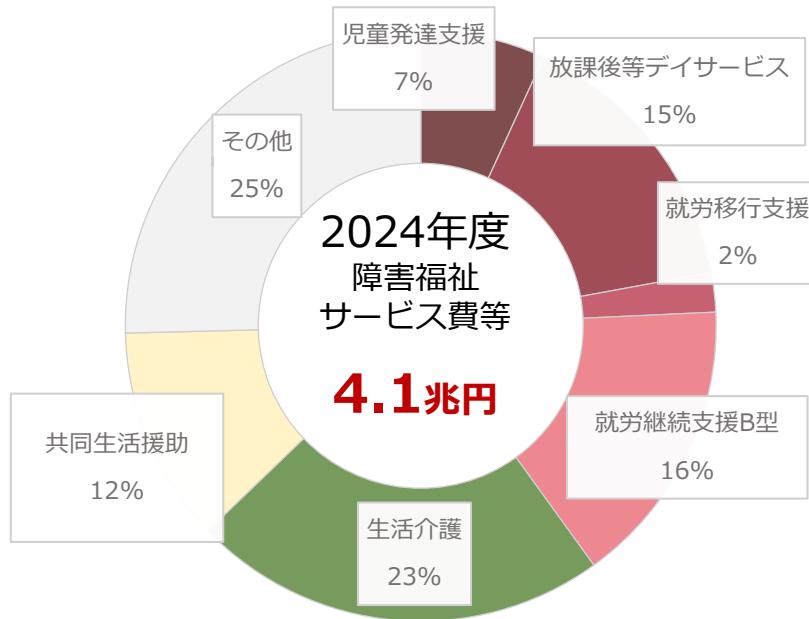
飲食利用者、飲食事業者への販売を中心とした事業



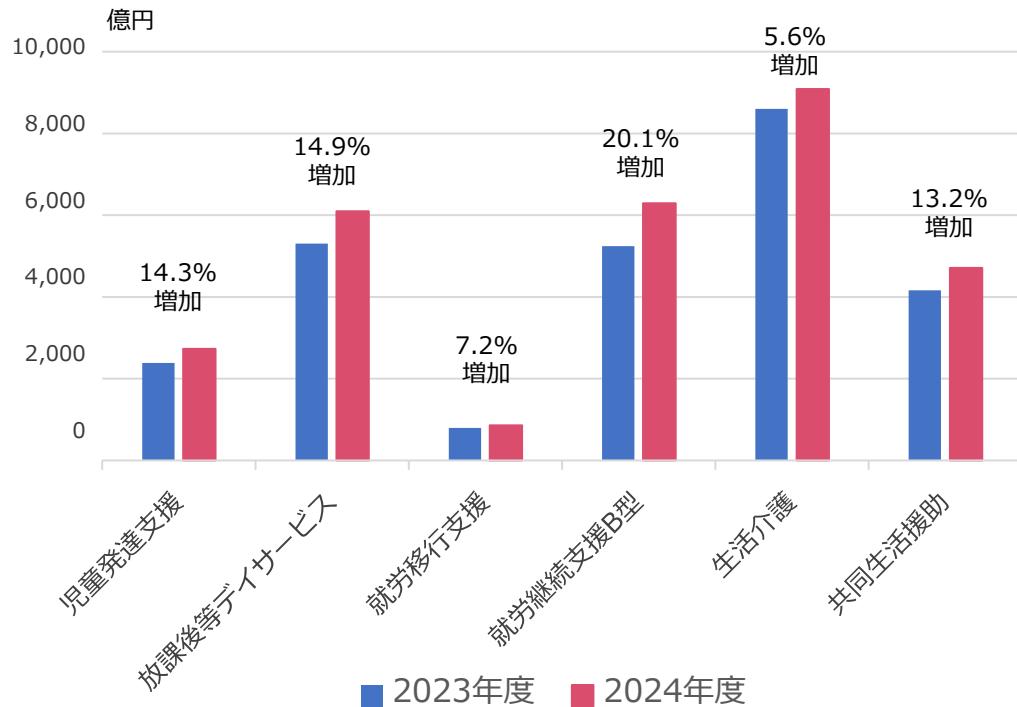
■ 障害福祉サービス市場は年々拡大傾向

2024年度の市場規模は**4.1兆円**を越え、2023年度と比較し**12.1%**の増加

福祉事業の市場規模と構成比



各サービスの市場規模と伸び率の比較



出典：こども家庭庁 こども家庭審議会障害児支援部会 2025年10月22日提出資料「障害福祉サービス等の費用の状況について」より当社作成



- 特定エリア内に多様な障害特性やニーズに対応できる事業所ポートフォリオを構築  
地域内のシェアを確立

### 福祉事業所のポートフォリオ

※2025年11月末時点

合計 97 事業所

滋賀県 3 事業所  
放課後等デイサービス : 3

三重県 20 事業所  
児童発達支援 : 3  
放課後等デイサービス : 5  
共同生活援助 : 9  
生活介護 : 1  
就労継続支援B型 : 1  
相談支援 : 1

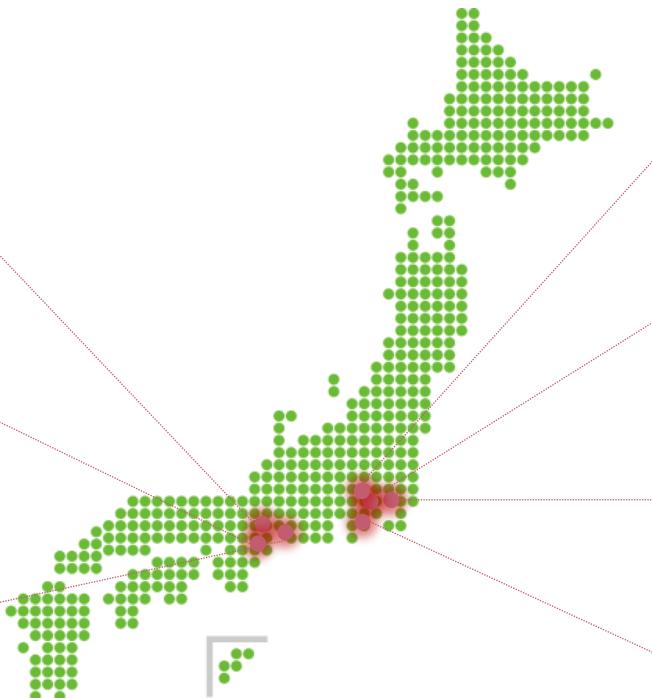
愛知県 7 事業所  
児童発達支援 : 1  
放課後等デイサービス : 5  
相談支援 : 1

埼玉県 14 事業所  
放課後等デイサービス : 5  
共同生活援助 : 7  
生活介護 : 2

東京都 18 事業所  
放課後等デイサービス : 10  
共同生活援助 : 3  
就労継続支援B型 : 3  
就労移行支援 : 2

千葉県 30 事業所  
放課後等デイサービス : 8  
共同生活援助 : 17  
生活介護 : 1  
就労継続支援B型 : 4

神奈川県 5 事業所  
放課後等デイサービス : 3  
共同生活援助 : 2



- 株式会社パパゲーノの「AI支援さん」を活用したDX事例が、政府の推進する新しい資本主義実現会議「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」の2025年改訂版において障害福祉分野における優良事例として取り上げられました

### 株式会社パパゲーノ（東京都）

主なサービス種別：就労継続支援B型

- ICT活用により、精神障害者や発達障害者の強みや希望（リカバリー）に焦点を当てた就労支援を実施
- 生成AIを脳の機能障害を補う「社会資源」として活用し、環境調整により障害当事者が自分でできることを増やす事例を創出。
- 支援現場のDXにもAIを活用し、障害福祉施設に向けたアプリを開発してAI導入を支援。

障害のある方の生成AI活用事例	支援者の生成AI活用事例
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解離性同一性障害や学習障害で漢字が理解しにくい方が、作業画面やマニュアルをひらがなに変換して働く。</li> <li>○ 確認不安が強く何度も質問を繰り返し作業が進まなかった方が、AI支援員で疑問を解消し活躍できるようになる。</li> <li>○ 業界の知識が全くない方が、企業向けのメルマガを作成し、ABテストの結果を踏まえ改善していくようになる。</li> <li>○ 長文を読むのが苦手な方が、企業の広報担当が書いたプレスリリースに改善提案ができるようになる。</li> <li>○ デザイン初学者が、デザイン4原則と基礎的なデザインソフトの使い方を学び、AIに壁打ちしながら広告デザインをできるようになる。</li> <li>○ プログラミング初学者の方が、自分の生活リズムを整えるための専用アプリを自分で開発できるようになる。</li> <li>○ パソコン初学者の方が、生成AIを用いてオリジナルの絵本を制作できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 業務のマニュアルを読み込ませて「AI支援員」を作ることで、簡単な質問対応はAIに任せて個別支援に集中できるようになる。</li> <li>○ 新たな挑戦のアクセシビリティを高め、生成AIにより合理的配慮の範囲を拡張できるようになる。</li> <li>○ 面談や電話、ケース会議の音声を録音するだけで支援記録が自動生成できるようになる。</li> <li>○ 記録作業の時間をなくすことで、面談やソーシャルスキルトレーニング等の時間を増やすことができるようになる。</li> <li>○ 面談記録が即時作成することで、相談室で話していた内容をリアルタイムに全てのスタッフが把握してその日の支援に生かすことができる。</li> <li>○ 日報、打刻（勤怠）、体調、NPSをまとめた月次報告書を生成し支援のPDCAを回すことができるようになる。</li> <li>○ 膨大なデータから利用者のニーズをより深く理解し、的確なアセスメントと支援方針の提案ができるようになる。</li> </ul>

出展：内閣官房「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改定版  
省力化投資促進プラン\_障害福祉「省力化投資促進プランー障害福祉ー」」



## 持続可能な社会への貢献を目指す環境循環型モデル事業

- ①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのこ栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する**
- ②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)**



施設外就労 作業工賃

就労実績支援事業所  
+today



AHCグループは、『人を想う』という共通理念の下、多様な価値観を認め合い、すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指しております。

この実現に向け、関わり合うすべての人が希望にあふれる未来を創造できるよう社会福祉を中心に事業活動を行い、ご利用者様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会等すべてのステークホルダーとの良好な関係を築き、中長期的な企業価値の向上に努めることで、持続可能で豊かな社会づくりに貢献してまいります。

## マテリアリティ

Environment  
(環境) 環境負荷の低減



## 取り組みテーマ

- 省エネルギー製品の導入
- 食材の有効活用

Social  
(社会) 健康的な生活環境の提供



働きがいのある職場の提供



質の高い教育の場の提供



差別のない公平な社会の実現



Governance  
(ガバナンス) ガバナンス体制の強化



- 生活レベルの維持・向上を促す施設の提供
- 障害者・高齢者に配慮した福祉サービスの提供

- 柔軟で安全・安心な労働環境の促進

- 利用者の療育活動や生涯学習機会の提供
- 従業員への教育機会の創出

- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- あらゆる形態の暴力・虐待の排除

- 持続可能な経営基盤構築の推進



## 配当政策の基本方針

中長期的な企業価値の向上に向けた戦略的投資や財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な利益還元を業績に応じて適正に行う

### 1株当たり配当

(連結)	中間	期末	通期
2024年11月期	-	10円	10円
2025年11月期	-	12円	12円
2026年11月期 (予想)	-	12円	12円

自己株式取得：経営環境の変化を考慮しながら、今後も継続的に取得を検討・実施





関わる全ての人を想う  
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、  
想いを深く広げていく先に、  
希望にあふれる未来を創造します



# 免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

## 【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550  
E-mail : [info-ir@ahc.co.jp](mailto:info-ir@ahc.co.jp)

